

平成23年度

カーボンフットプリント日本フォーラム

総会資料（案）

- 第1号議案 平成22年度活動実績報告書（案）・・・・・・・・・・資料1
- 第2号議案 平成22年度収支決算書（案）・・・・・・・・・・資料2
- 第3号議案 平成23年度活動計画書（案）・・・・・・・・・・資料3
- 第4号議案 平成23年度収支予算書（案）・・・・・・・・・・資料4
- 第5号議案 平成23年度役員の選任（案）・・・・・・・・・・資料5

平成23年8月2日
13時30分～14時20分
於：学士会館 202号室

カーボンフットプリント日本フォーラム
事務局：社団法人産業環境管理協会

平成 22 年度事業報告書(案)

(平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

カーボンフットプリント日本フォーラムは、①すべてのステークホルダー間での相互信頼関係の構築、②サプライチェーンを構成するあらゆる事業者による低炭素型サプライチェーンの構築、③社会制度としての実用化、低炭素な消費活動の定着、以上 3 つの目的を達成するため、普及・交流活動、研究会活動、研修活動を展開している。

平成 22 年度は、会員企業の確保、会員間の相互理解等、運営基盤の基礎づくりとともに、カーボンフットプリントの社会的啓発活動を中心に活動を展開した。

1. 会員状況(平成 23 年 3 月 31 日現在)

法人会員 A:98 社、 法人会員 B:31 社、 個人会員 :125 名

2. 平成 22 年度役員

会長	稲葉 敦	工学院大学 教授
副会長	上山 静一	グリーン購入ネットワーク 代表理事(当時) 流通環境経営研究所 代表(現職)
副会長	平尾 雅彦	東京大学 教授
監事	稲永 弘	株式会社トーマツ審査評価機構 代表取締役社長
監事	水野 建樹	社団法人未踏科学技術協会 研究主幹

3. フォーラム運営のための会議等

3-1.通常総会

日時： 平成 22 年 9 月 27 日(月)13:15～13:45
 場所： 中央大学駿河台記念館 285号室
 出席： 出席 49 名(委任状ご提出 28 名)
 議題： 第1号議案 平成21年度活動報告及び平成21年度収支決算報告
 第2号議案 平成22年度活動計画及び平成22年度収支予算

3-2.運営委員会(1回) 委員:26 名

第1回 日時： 平成 22 年 8 月 31 日(木) 10:00～12:00
 場所： 中央大学駿河台記念館 320 号室
 議題： ①今年度の活動進捗について
 ②普及交流活動について
 ③研究会活動について
 ④農産物販売促進研究会実施計画書修正案

3-3.普及交流企画部会(10回) 委員:16 名

第1回 日時： 平成 22 年 4 月 6 日(火)13:30～15:30
 場所： LEN 貸会議室「神田南口」
 議題： ①主催・共催イベント
 ②会員募集対策

- ③WEB 運用
 - ④CFP フォーラムパンフレット
 - ⑤日経新聞広告社からの企画提案について
- 第2回 日時: 平成 22 年 5 月 11 日(火) 16:00~18:00
場所: 産業環境管理協会 竹内ビル3F
議題: ①後援イベント、座長会報告
②平成 22 年度 CFP フォーラム連携案
③イベント情報
④CFP フォーラムパンフレット
- 第3回 日時: 平成 22 年 6 月 11 日(金) 13:30~15:30
場所: 産業環境管理協会 7F D 会議室
議題: ①後援イベント、お菓子 WG によるキャンペーンの状況についての報告
②平成 22 年度カーボンフットプリント制度試行事業の状況について
③平成 22 年度 CFP フォーラム連携案
- 第4回 日時: 平成 22 年 7 月 15 日(木) 13:30~15:30
場所: 産業環境管理協会 6F F 会議室
議題: ①後援イベント、お菓子 WG によるキャンペーンの状況についての報告
②プロモーション活動について
③フォーラム WEB サイトについて
- 第5回 日時: 平成 22 年 9 月 13 日(月) 13:30~15:30
場所: 産業環境管理協会 6F F 会議室
議題: ①平成 22 年度普及交流活動計画案について
②後援イベント、お菓子 WG によるキャンペーンの状況についての報告
- 第6回 日時: 平成 22 年 10 月 12 日(火) 13:30~15:30
場所: 産業環境管理協会 7F D 会議室
議題: ①エコプロダクツ展における普及交流活動について
②新パンフレットについて
③用語集について
- 第7回 日時: 平成 22 年 11 月 18 日(木) 13:30~15:30
場所: 産業環境管理協会 6F E 会議室
議題: ①エコプロでのプレゼンテーションについて
②新パンフレットについて
③2 月普及交流イベントについて
④お菓子キャンペーン報告会
⑤CFP 制度試行事業の現状について
- 第8回 日時: 平成 22 年 12 月 17 日(金) 10:00~12:00
場所: 産業環境管理協会 7F D 会議室
議題: ①2 月普及交流イベントについて
②CFP 制度試行事業の現状について
③新パンフレットについて
④エコプロでのプレゼンテーションについて
- 第9回 日時: 平成 23 年 1 月 14 日(金) 13:00~15:00
場所: 産業環境管理協会 7F D 会議室

- 議題： ①普及・交流会について
②「あなたが選ぶ！森が生きる！企画」キャンペーンについて
③スーパーマーケット・トレードショー2011について
- 第10回 日時： 平成 23 年 3 月 10 日(金) 13:30～15:30
場所： 産業環境管理協会 6F E 会議
議題： ①平成 22 年度普及・交流会 報告
②「あなたが選ぶ！森が生きる！企画」キャンペーンについて
③フリーディスカッション：「来年度の普及・交流活動について」

3-4.研究会活動企画部会(1回) 委員:10名

- 第1回 日時： 平成 22 年 5 月 31 日(水) 15:00～17:00
場所： 産業環境管理協会 7F D 会議室
議題： ①座長会の議事メモ内容の共有と今までの主な論点と整理
②研究会活動規程(案)について
③研究会活動の意義と、活性化方法についてのブレインストーミング

4.普及・交流活動

4-1.座長会 (出席:9名)

- 日時： 平成 22 年 5 月 10 日(月) 16:00～17:00
場所： 産業環境管理協会 7F D 会議室
議題： ①本会の目的について
②各座長からの活動報告(各研究会の目標・着地点も含めて)
③研究会からフォーラムへのフィードバックについて
④フォーラムによる研究会活動のサポートについて
⑤直近の課題の解決
⑥普及交流企画部会との連携

4-2.平成 22 年度 CFP日本フォーラム 総会セミナー

- 日時： 平成 22 年 9 月 27 日 14:00 - 17:00
場所： 中央大学駿河台記念館 285 号室
内容： ①基調講演 2名
②招待講演 1名
③販売事例 2件
参加者： 105 名(フォーラム会員、非会員)

4-3.エコプロダクツ展での情報発信

- 日時： 平成 22 年 12 月 9-11 日
場所： 東京ビックサイト(産業環境管理協会のブースを間借り)
内容： ①パンフレット配布(2000 部)
②ショートプレゼンコーナーでの会員企業の情報発信

4-4.平成 22 年度 CFPフォーラム 普及・交流会

日時： 平成 23 年 2 月 16 日 10:00 - 16:30

場所： 全日通霞ヶ関ビル8階大会議室

内容： ①基調講演 2 名

②CFP をプロモーション活動に活用している事例講演 3 件

③独自の CFP に取り組む事業者による講演 2 件

④その他 3 件

参加者： 103 名(フォーラム会員、非会員)、

4-4.メールニュース発行

・CFP 関連のホットなニュース、会員からの情報提供、フォーラム主催イベントなどの情報を、会員に対して発信した。

・平成 22 年度発行実績は 30～82 号。

5.研究会活動

5-1.CFP ポイントアライアンス研究会

日時： 平成 22 年 4 月 23 日(金) 15:00～17:00

場所： 産業環境管理協会 竹内ビル 3 階会議室

議題： ①CFP ポイント研究会の目的

②メンバー紹介

③CFP ポイント研究会の概要について

④CFP ポイント研究会で行うこと

⑤ディスカッション－CFP ポイント研究会についての意見交換

5-2.カーボンフットプリントとカーボンオフセットの連携に関する研究会

日時： 平成 22 年 8 月 12 日(木) 13:30～16:30

場所： 産業環境管理協会 竹内ビル 3 階会議室

議題： ①カーボンオフセットを取り巻く状況

②国内クレジット活用事例について

③ヒアリング内容の検討

5-3. 企業活動における排出量の把握に関する研究会

日時： 平成 22 年 8 月 12 日(木) 10:00～11:40

場所： 産業環境管理協会 竹内ビル 3 階会議室

議題： ①事例紹介

②政府の検討状況の説明

③今後の研究会の進め方に関して

以上

(別紙)

メールニュース平成 22 年度発行実績

- Vol.82 日本ポリエチレン製品工業連合会カーボンフットプリントセミナー(関西)開催のお知らせ
- Vol.81 「環境関連規格の国際動向」セミナー(LCA 日本フォーラム・日本 LCA 学会共催)
- Vol.80 「かながわカーボンフットプリントセミナー 開催のお知らせ」
- Vol.79 サプライチェーン省資源化連携促進事業 成果報告会開催のお知らせ
- Vol.78 日本ポリエチレン製品工業連合会 カーボンフットプリントセミナー開催のご案内
- Vol.77 2月16日(水)平成22年度 CFP フォーラム普及・交流会のご案内
- Vol.76 カーボンフットプリント 地域連絡会開催のご案内
- Vol.75 『「スコープ3」のカーボンマネジメント』出版記念セミナー
- Vol.74 三信化工株式会社の取り組み カーボンフットプリントのキャラクターのご紹介
- Vol.73 エコプロダクツ 2010 における CFP フォーラムの出展内容
- Vol.72 三信化工株式会社の取り組み
- Vol.71 大日本印刷株式会社の製品
- Vol.70 「電子黒板(StarBoard)を用いた遠隔会議システム」に CFP マークを表示
- Vol.69 エコプロダクツ 2010 での企業プレゼン募集
- Vol.68 宣伝用および業務用印刷物 PCR セミナー開催案内
- Vol.67 株式会社リサイクルワン主催 エコプロダクツ 2010 記念無料セミナー
- Vol.66 環境効率フォーラム秋季セミナー_資源・リサイクル効率の新展開
- Vol.65 カーボンアイ事例発表会のご案内
- Vol.64 欧州委員会、日本のカーボンフットプリント制度を高評価
- Vol.63 来日特別講演:CFP、LCA 世界最新動向セミナー
- Vol.62 新 LCA ソフトウェア「MiLCA 製品説明会」のご案内
- Vol.61 「The MIDORI Prize for Biodiversity」(生物多様性みどり賞)
- Vol.60 一次産業 LCA 研究会のお知らせ
- Vol.59 日刊工業新聞 本日(10/1)付 15 面にフォーラムに関する記事
- Vol.58 消費者・リーダー教育向けのイベントの参加募集案内
- Vol.57 関東経済産業局主催「環境配慮・経営力強化」セミナー
- Vol.56 (独)産業技術総合研究所オープンラボで CFP 紹介
- Vol.55 環境シンポジウム「衣服を通じて環境貢献！」～Earthink Project～「見える化」「減らす化」「気づく化」
- Vol.54 日本生活協同組合連合会 カーボンフットプリント表示商品の取り扱い生協のお知らせ
- Vol.53 カーボンフットプリント日本フォーラム総会セミナー「カーボンフットプリントの最新動向」
- Vol.52 温室効果ガス(ISO14060 シリーズ等) 動向説明会
- Vol.51 消費者・リーダー教育向けのイベントの参加募集案内
- Vol.50 イベント情報 8月23日(月)『環境効率をめぐる国際動向』
- Vol.49 8/1より「お菓子で地球環境保護応援キャンペーン」が始まっています
- Vol.48 アースサポート株式会社主催 「環境セミナー」のご案内
- Vol.47 カーボンフットプリントの算定に・・・「カーボンアイ」商品のご紹介
- Vol.46 お菓子で地球環境保護応援キャンペーン『あなたが選ぶ！森が活きる！』のお知らせ
- Vol.45 フォーラム会員企業によるカーボンフットプリントに関する講演のご案内
- Vol.44 「CO2 を売りにつなげる無料セミナー」開催のご案内
- Vol.43 「出版・商業印刷物のカーボンフットプリントに関する調査研究報告会」のご案内
- Vol.42 第4回カーボンフットプリント・ルール検討委員会
- Vol.41 カーボンフットプリントを表示したバラが販売されています
- Vol.40 「日立 uVALUE コンベンション 2010」にてカーボンフットプリントに関するセミナー

- Vol.39 国際 文具・紙製品展 ISOT 2010 にてカーボンフットプリント紹介コーナー
- Vol.38 第3回カーボンフットプリント・ルール検討委員会
- Vol.37 第2回カーボンフットプリント・ルール検討委員会
- Vol.36 平成22年度LCA日本フォーラム総会記念セミナーのご案内
- Vol.35 カーボンフットプリント・ルール検討委員会
- Vol.34 日本生協連初の商品～洗濯用洗剤「セフターE」を6月末より展開
- Vol.33 カーボンフットプリント制度ウェブサイト再開
- Vol.32 コクヨグループ 業界基準に準拠したカーボンフットプリントを算定
- Vol.31 平成21年度カーボンフットプリント試行事業の成果掲載
- Vol.30 カーボンフットプリント・カーボンマネジメントセミナー

平成22年度カーボンフットプリント日本フォーラム収支決算書(案)

(単位:円)

科目	予算額	決算額	
I. 収入の部			
1. 会費	2,560,000	1,594,000	@ 50,000 円× 24 社・団体 = 1,200,000 @ 20,000 円× 14 社・団体 = 280,000 @ 2,000 円× 57 人 = 114,000
2. LCA日本フォーラム協力金	500,000	500,000	500,000
3. 雑収入	100	34,120	34,120
当期収入合計(A)	3,060,100	2,128,120	2,128,120
4. 前期繰越金	48,028	48,028	48,028
収入合計(B)	3,108,128	2,176,148	
II. 支出の部			
1. 総会、委員会等費用	538,000	300,577	委員手当 49,000 会場費 209,300 会議費 42,277
2. 研究会活動費	600,000	9,644	研究会活動補助費 9,644
3. 普及・交流活動費	1,277,500	1,011,983	会場費 78,000 講師謝金 95,200 パンフ印刷費 307,353 WEB管理運用 531,430
4. 研修活動費	100,000	0	
5. 事務局経費	542,628	0	
6. 予備費	50,000	178,322	セミナー申込フォーム作成費 105,000 郵送代 18,462 振込手数料他 8,295 その他諸経費 46,565
当期支出合計(C)	3,108,128	1,500,526	
当期収支差額(A-C)	-48,028	627,594	
次期繰越収支差額(B-C)	0	675,622	

※事務局人件費については日本LCA学会を参考に収入見込み額の20%を上限として計上する。

※事務局管理費については日本LCA学会を参考に人件費の15%相当額を計上する。

会 計 監 査 確 認 書

平成22年度カーボンフットプリント日本フォーラム会計書類を監査し、その正当なることを確認致しました。

平成23年5月23日

監事 東京都千代田区丸の内三丁目3番1号
新東京ビル
株式会社トーマツ審査評価機構
代表取締役社長 稲永 弘



監事 東京都港区西新橋一丁目5番10号
社団法人未踏科学技術協会
研究主幹 水野 建樹



平成 23 年度活動計画書(案)

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

カーボンフットプリント日本フォーラムでは、平成23年度も普及交流活動、研究会活動、研修活動の 3 つを柱に魅力ある活動を展開し、さらなる会員の拡大、会員間の相互理解促進、運営体制の整備等をはかるとともに、国における「カーボンフットプリント制度構築事業」とも連携を深め、カーボンフットプリントの社会的啓発を推進する。

1. フォーラム運営のための会議等

1-1. 通常総会(1回:8月2日開催)

- ・フォーラムの運営に関する重要事項を審議し、決定する

1-2. 運営委員会(年 2 回程度)

- ・フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、総会に付議する事項を審議する

1-3. 普及交流企画部会(年 4 回程度:四半期に 1 回)

- ・カーボンフットプリントの普及、会員相互交流に関する活動の企画・運営を行う。
- ・活動内容によっては、アドホックグループを設置し、広く会員から協力者を募り実施する

1-4. 研究会活動企画部会(年 2 回程度)

- 研究会活動に関する企画・運営を行う。

1-5. 研修活動企画部会(年 2 回程度)

- 当面は運営委員長と事務局にて協議し企画・運営を行う。

2. 普及交流活動

カーボンフットプリントに関する国の制度の動向や会員企業等の取り組みについて、情報交流を図る。

2-1. 普及交流会

- 会員企業におけるセミナー及び取組事例発表会等を開催する。

2-2. 後援・協力

- カーボンフットプリントの普及に資する外部団体のイベントへの協力・後援を行う。

2-3. 展示会出展

- エコプロダクツ展等において、フォーラム活動や会員企業の情報発信を行う。

2-4. 普及広報

- WEB サイトの整備を進め、各種情報発信を行う。

3.研究会活動

研究会活動は、カーボンフットプリントに関する技術面、活用面等の研究活動を会員の自主的行動として実施するもので、その成果については成果報告会を行うなど会員に対してフィードバックする。研究会活動企画部会にて、研究会募集要領の改訂を行う等、研究会の企画・運営体制を1年かけて構築する。また、新たな研究会活動の芽を育て、カーボンフットプリントの応用可能性を追求する。

4.年間スケジュール(予定)

	総会・委員会等	普及交流・研修活動	研究会活動
4月			随時
5月			
6月			
7月	運営委員会(7/19)		
8月	総会(8/2)	総会セミナー	
9月			
10月		研修会(予定)	
11月		普及交流会(予定)	
12月		(エコプロダクツ展出展)	
1月	運営委員会		
2月		研修会(予定)	
3月			



以上

平成23年度カーボンフットプリント日本フォーラム収支予算書（案）

（単位：円）

科目	H22年度 予算額	H22年度 決算額	H23年度 予算額	
I. 収入の部				
1. 会費	2,560,000	1,594,000	1,770,000	@ 50,000 円× 25 社・団体 = 1,250,000 @ 20,000 円× 20 社・団体 = 400,000 @ 2,000 円× 60 人 = 120,000
2. LCA日本フォーラム 協力金	500,000	500,000	500,000	500,000
3. 雑収入	100	34,120	50,000	50,000
4. 前期繰越金	48,028	48,028	675,622	675,622
収入合計(A)	3,108,128	2,176,148	2,995,622	
II. 支出の部				
1. 総会、委員会等費用	538,000	300,577	530,000	委員手当 80,000 委員旅費 50,000 会場費 300,000 会議費 50,000 講師謝金 50,000
2. 研究会活動費	600,000	9,644	600,000	研究会活動補助費 600,000 研究会 勉強会 ポリシーステートメント作成
3. 普及・交流活動費	1,277,500	1,011,983	1,450,000	会場費 300,000 講師謝金 200,000 印刷費 300,000 会議費 100,000 WEB管理運用 550,000
4. 事務局経費	542,628	0	380,000	人件費 300,000 管理費 80,000
5. 予備費	50,000	178,322	35,622	35,622
支出合計(B)	3,108,128	1,500,526	2,995,622	
収支差額 (A-B)	0	675,622	0	

※事務局人件費については日本LCA学会を参考に収入見込み額の20%を上限として計上する。

※事務局管理費については日本LCA学会を参考に人件費の15%相当額を計上する。

平成23年度カーボンフットプリント日本フォーラム

会長・副会長・監事の選任(案)

カーボンフットプリント日本フォーラム規約第8条の規定に基づき、会長1名、副会長及び監事を選任する必要があります。以下に候補者を記します。

候補者(五十音順、敬称略)

1. 会長:

稲葉 敦 工学院大学 工学部 教授

2. 副会長:

平尾 雅彦 東京大学 工学系研究科 化学システム工学専攻 教授

上山 静一 流通環境経営研究所 代表

3. 監事:

稲永 弘 株式会社トーマツ審査評価機構 代表取締役社長

水野 建樹 社団法人未踏科学技術協会 研究主幹

(顧問)

石谷 久 東京大学 名誉教授

カーボンフットプリント日本フォーラム 体制



カーボンフットプリント日本フォーラム規約

(名称)

第1条 本会は、カーボンフットプリント日本フォーラム(略称:CFP-Japan フォーラム、以下「フォーラム」という。)と称する。

(目的)

第2条 フォーラムは、カーボンフットプリントに関する諸活動を通じて、①すべてのステークホルダー間での相互信頼関係の構築②サプライチェーンを構成するあらゆる事業者による低炭素型サプライチェーンの構築③社会制度としての実用化、低炭素な消費活動の定着を図り、もって、低炭素社会の実現を目指すことを目的とする。

(事業活動)

第3条 フォーラムは、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- (1)カーボンフットプリントに関する研究活動
- (2)カーボンフットプリントに関する普及・交流活動
- (3)カーボンフットプリントに関する研修活動
- (4)前各号のほか、目的達成に必要な活動

(会員)

第4条 フォーラムの会員は、法人会員A、法人会員B、および個人会員で構成する。

- 2 法人会員Aは、一般企業・各種団体(法人会員Bに属するものを除く)とする。
- 3 法人会員Bは、中小企業基本法に定義される中小企業、消費者団体、特定非営利活動法人とする。
- 4 個人会員は、カーボンフットプリントに関心のある個人とする。

(会費)

第5条 会員は、別に定める会費規程に基づいて会費を納入しなければならない。

(入退会)

第6条 フォーラムの会員になろうとする者は、別に定める入会申込書を会長に提出し、承認を得なければならない。

- 2 会員がフォーラムを退会するときは、別に定める退会届を会長に提出しなければならない。
- 3 会員が次の各号の一つに該当するときは、退会したものとみなす。
 - (1)法人又は団体が解散又は破産したとき。
 - (2)死亡又は失踪宣告を受けたとき。
 - (3)会費を納入せず、督促後6ヶ月を経ても納入しないとき。

(除名)

第7条 会員が別に定める会費規則等に違反したときは、運営委員会の3分の2以上の議決をもって除名することができる。

(会長、副会長および監事)

第8条 フォーラムに次の役員を置く。

- (1)会長1名および副会長若干名
- (2)監事2名
- 2 会長は、フォーラムを代表し、会務を統轄する。
- 3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき又は会長が欠けたときはその職務を代行する。
- 4 監事は、フォーラムの収支決算書の監査を行う。

- 5 会長、副会長および監事は、総会において選任する。
- 6 会長、副会長および監事の任期は、2年とする。但し、再任を妨げない。

(顧問)

第9条 フォーラムに顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、フォーラムの運営に関する重要な事項について、会長の求めに応じ総会等において、意見を述べることができる。
- 3 第8条第6項の規定及び但し書きは、顧問の任期に準用する。

(総会)

第10条 総会は法人会員A及び法人会員Bをもって構成する。

- 2 総会は、フォーラムの運営に関する重要事項を審議し、決定する。
- 3 総会は、会長が招集する。
- 4 総会は、毎年1回以上開催する。
- 5 総会の議長は、会長がこれにあたる。
- 6 総会は、2分の1以上の出席(委任状を提出した者を含む)をもって構成し、出席者の過半数の同意で議決するものとする。なお、個人会員は当該議決権を有さないものとする。

(運営委員会)

第11条 フォーラムに運営委員会を置き、次の者をもって構成する。

- (1) 委員長 1名
- (2) 副委員長 1名～2名
- (3) 委員 30名以内
- 2 運営委員会の委員長、副委員長および委員は、会員及び学識経験者の内から会長が選任する。
- 3 運営委員会は、フォーラムの活動に関し必要な事項を処理し、総会に付議する事項を審議する。
- 4 運営委員会は、運営委員長が必要と認めた場合開催する。
- 5 第8条第6項の規定及び但し書きは、運営委員会委員長、副委員長および委員の任期に準用する。
- 6 第10条第6項の規定は、運営委員会の定足数及び議決に準用する。

(専門部会)

第12条 運営委員会の議決により、フォーラムに専門部会を置くことができる。

(事務局)

第13条 フォーラムの事務局は、社団法人産業環境管理協会に置く。

(規約の改正)

第14条 本規約の改正は、総会の議決により行う。

附 則

1. この規約は、平成21年9月14日より施行する。

平成23年度カーボンフットプリント日本フォーラム運営委員会 委員名簿

(順不同・敬称略)

	委員名	所属・役職	
1	委員長	伊坪 徳宏	東京都市大学 環境情報学部
2	副委員長	加地 靖	みずほ情報総研株式会社 環境・資源エネルギー部 (環境経営チーム)
3	副委員長	田原 聖隆	独立行政法人産業技術総合研究所 安全科学研究部門 社会とLCA研究グループ
4	委員	岩尾 康史	株式会社トーマツ審査評価機構 マーケティング部
5	委員	丸山 哲章	株式会社トーク カーボンアイ事業部
6	委員	金井 路也	日本テトラパック株式会社 環境本部 環境課
7	委員	水谷 広	日本大学大学院 生物資源科学研究科
8	委員	高田 祥三	早稲田大学 創造理工学部 経営システム工学科
9	委員	久保 直紀	中央化学株式会社 広報CSR室
10	委員	端谷 隆文	富士通株式会社 環境本部
11	委員	高橋 庸一	株式会社日立製作所 地球環境戦略室
12	委員	梅田 靖	大阪大学 大学院工学研究科機械工学専攻
13	委員	西 哲生	株式会社インテージ マーケティングイノベーションユニット
14	委員	古屋 一	社団法人日本包装技術協会
15	委員	則武 祐二	株式会社リコー 社会環境本部
16	委員	大沢 年一	日本生活協同組合連合会 組織推進本部 環境事業推進室
17	委員	浅川 健一	一般財団法人日本品質保証機構 (JQA 地球環境部) 地球環境事業部
18	委員	山田 朗	株式会社日本能率協会コンサルティング オペレーション革新本部 グリーン&アグリ イノベーション グループ
19	委員	佐々木 卓也	ネスレ日本株式会社 安全環境管理部
20	委員	足立 仁	一般社団法人日本ガス協会 環境部
21	委員	中村 二郎	NTT環境エネルギー研究所 環境推進プロジェクト
22	委員	大石 美奈子	公益社団法人 日本消費生活 アドバイザー・コンサルタント協会 環境委員会
23	委員	泊 健守	イオン株式会社 グループ環境・社会貢献部
24	委員	関口 憲義	株式会社電通 電通総研 コミュニケーションラボ
25	委員	正嶋 宏一	TCO2株式会社